株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座　口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

　また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしています。

https://www.alfresa.com/ir/

「統合報告書 2021」

アルフレッサ ホールディングス株式会社　コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102　FAX:03-5219-5103

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C005531

alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社

株主のみなさまへ

2022年3月期 報告書

(2021年4月～2022年3月)

証券コード　2784

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresa group

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度まで当社グループは、3ヵ年の中期経営計画「19-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」のもと、グループ連携体制の構築、事業モデルの変革、および地域の人々の健康への貢献などのグループ経営方針に取り組んでまいりました。最終年度である昨年度は、医療用医薬品等卸売事業では、地域特性に合ったエリア戦略の推進、スペシャリティ商品への注力、グループ物流の「高度化」「効率化」および「標準化」などに取り組みました。また、セルフメディケーション卸売事業では専売メーカー・専売商品の取り組み強化、医薬品等製造事業ではグループニーズに沿った製品の拡充、医療関連事業においては事業会社3社の合併による機能強化と効率化を推進いたしました。2022年3月期の連結業績は、薬価の中間年改定および医療機関における入札指名停止の影響等により、売上高2兆5,856億円（前期は2兆6,104億円）、営業利益290億円（同279億円）、そして親会社株主に帰属する当期純利益321億円（同245億円）となりました。「19-21 中期経営計画」で掲げたグループ経営目標のうち、株主還元のDOE2.3%以上は達成し、2022年3月期の配当は期初の予定通り年間配当金54円といたしております。

本年4月からは、新たに「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム～」がスタートいたしました。当社グループの「なりたい姿（長期目標）」を定め、「事業モデルの強化」と「新たな価値の創造」、「グループ一体となった取り組み」による地域の健康・医療への貢献、

グループ経営目標の成果

	19-21 中期経営計画	2022年3月期実績
売上高	2兆7,500億円 （2兆7,562億円）*1	2兆5,856億円
営業利益率	1.7%以上 （2.0%以上）*1	1.1%
当期純利益率*2	1.4%以上	1.2%
投資総額（累計）	1,200億円	665億円
ROE	8%水準	6.7%
株主還元	DOE*3 2.3%以上	DOE 2.3%

*1 2022年3月期より適用した収益認識基準及び表示変更を反映した場合の数値
*2 親会社株主に帰属する当期純利益率
*3 連結純資産配当率

「環境保全への取り組み等」を通じたサステナブル社会への貢献、「ダイバーシティ」を中心とした人財戦略の推進、「コンプライアンスの遵守」を最重要とする企業風土の醸成に取り組み、ヘルスケアコンソーシアムのさらなる進化を実現してまいります。

資本政策では、財務健全性をベースに、積極的な成長投資と資本効率の向上、株主還元充実の最適バランスを追求します。配当方針につきましては、従来のDOEを2.3%以上から2.4%以上に引き上げ、長期安定的かつ継続的な株主還元を図ってまいります。

2019年11月に、独立行政法人地域医療機能推進機構を発注者とする医薬品の入札に関して、公正取引委員会による立ち入り検査を受けて以降、株主のみなさまには重ねてご迷惑やご心配をおかけしており、心よりお詫び申し上げます。

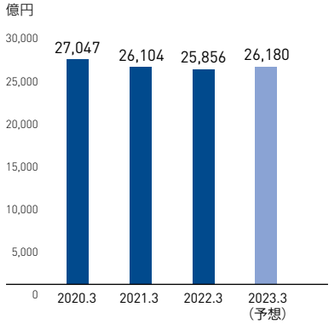
私たちアルフレッサグループは、再発防止策の策定、実行、点検のサイクルを徹底的に繰り返すことにより、早期に信頼回復できるよう努めております。株主のみなさまにおかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長　荒川隆治

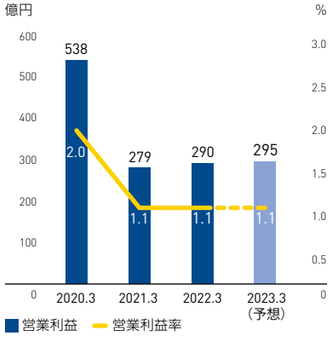
連結財務ハイライト

※当期より「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。
なお、前期までの実績につきましては、受取情報料等の表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

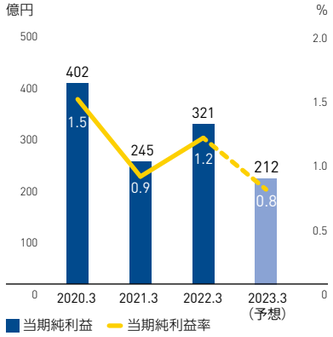
売上高



営業利益・営業利益率

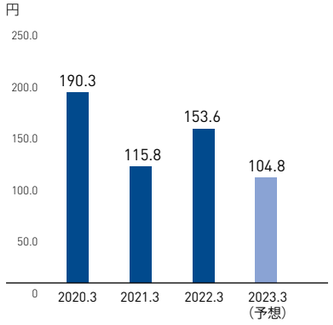


当期純利益・当期純利益率*

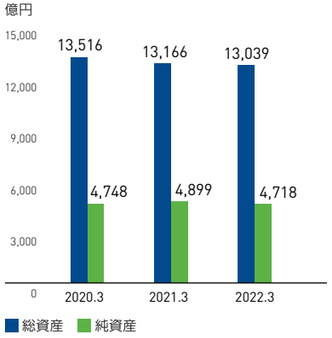


* 親会社株主に帰属する当期純利益(率)

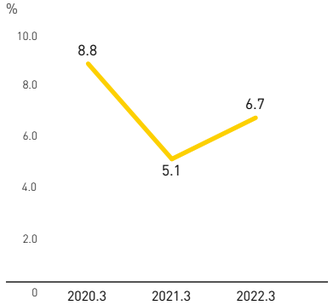
1株当たり当期純利益(EPS)



総資産・純資産



ROE(自己資本当期純利益率)



「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

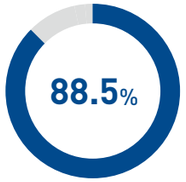
事業別業績

連結売上高 **2兆5,856億円** (前期比0.9%減)

連結営業利益 **290億円** (前期比4.2%増)

医療用医薬品等卸売事業

売上高構成比率



売上高
2兆2,881億円
(前期比0.4%減)

営業利益
248億円
(前期比2.9%減)

適正価格での販売を徹底しましたが、独占禁止法違反にともなう医療機関における入札指名停止や薬価の中間年改定の影響などにより、売上高2兆 2,881億円(前期は2兆2,978億円)、営業利益248億円(同255億円)となりました。

セルフメディケーション卸売事業

売上高構成比率

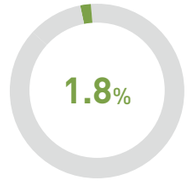
売上高
2,448億円
(前期比6.5%減)

営業利益
18億円
(前期比26.0%減)

2020年度上期を中心に伸長した新型コロナウイルス感染症関連商品(マスクや除菌関連商品等)の反動減、および物流関連費用の増加等により、売上高2,448億円(前期は2,617億円)、営業利益18億円(同25億円)となりました。

医薬品等製造事業

売上高構成比率



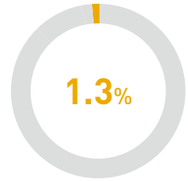
売上高
473億円
(前期比11.2%増)

営業利益
18億円
(前期は営業損失1億円)

新たな長期収載品の承継による売上寄与、新型コロナウイルス抗原迅速検査キットの需要増等により、売上高473億円(前期は425億円)、営業利益18億円(前期は営業損失1億円)となりました。

医療関連事業

売上高構成比率



売上高
344億円
(前期比3.5%増)

営業利益
1億円
(前期は営業損失3億円)

薬価の中間年改定の影響がありましたが、合併による店舗数の増加および効率化の推進等により、売上高344億円(前期は333億円)、営業利益1億円(前期は営業損失3億円)となりました。

特集

22-24 中期経営計画　未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～

本年4月より「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」がスタートしました。

アルフレッサグループのなりたい姿（長期目標）

全ての人のライフジャーニーに貢献するために、医薬品・診断薬等の開発・製造、様々なモダリティで提供される医薬品・診断薬・医療機器等の流通と患者様への提供、モノとサービスの流通を自動化・最適化するために必要なデータの流通、そして個人のライフジャーニーの各局面で必要となる健康・医療サービスの提供を行いたいと考えています。

「製造機能」「卸・流通機能」「かかりつけ薬局機能」「情報提供機能」を最大限発揮し、「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム」の実現をめざします。

健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できる ヘルスケアコンソーシアム®の実現

アルフレッサグループを取り巻く経営環境

当社グループを取り巻く経営環境は、今後大きく変化することが予想されます。その影響は脅威もありますが、一方では新しい中期経営計画を進めるにあたってのチャンスも広がっていると考えています。

主な環境変化

- 超高齢社会 労働人口減少
- 環境保全
- 健康への関心
- 社会保障費増加
- 技術革新 デジタル化

地域医療構想、医療費の適正化、診断から治療までのデジタル化

当社への影響

機会
- 地域包括ケアシステム、病床機能分化の推進・完成へ
- スペシャリティ医薬品、再生医療等製品の市場拡大
- ビッグデータの利活用
- 予防、セルフメディケーションへの関心の高まり
- 徹底した品質管理、安定供給の必要性
- 創薬ベンチャーの参入
- 在宅医療のさらなる普及
- オンラインを活用した医療の普及
- 処方箋や処方医薬品の流れの変化

脅威
- 薬価中間年改定による市場成長の停滞
- 低分子医薬品の市場縮小
- 廃業商品による環境負荷の課題
- 配送における炭素税導入の影響
- 生産工程における環境保全の要求

グループ経営方針

1. 「事業モデルの強化」と「新たな価値の創造」
2. 「グループ一体となった取り組み」による地域の健康・医療への貢献
3. 「環境保全への取り組み等」を通じたサステナブル社会への貢献
4. 「ダイバーシティ」を中心とした人財戦略の推進
5. 「コンプライアンスの遵守」を最重要とする企業風土の醸成

1 「事業 モデルの強化」と「新たな価値の創造」

事業モデルの強化においては、医療用医薬品等卸売事業ではスペシャリティ領域とメディカル品、セルフメディケーション卸売事業では専売商品、医薬品等製造事業では受託製造ならびに中枢神経・診断薬領域、および医療関連事業では在宅医療などの成長領域に注力し拡大していくことが、グループの強固な基盤を築くものと考えています。

新たな価値の創造においては、各セグメントが持つ強みを活かし、当社グループのサプライチェーンを活用することにより、セグメントを越えた新たな価値を生み出していきます。加えて、デジタルヘルスやヘルステックなど、様々なデジタルツールの活用で新たな価値を創造し、顧客の課題解決を図ります。デジタルトランスフォーメーション(DX)により、ヘルスケアに携わる方々をつなぐ私たちの活動を新たなステージへ進め、お客様満足の向上を実現し、健康・医療に関する新たな事業領域へ挑戦します。

トータルサプライチェーンサービスを構築し、新たな価値を生み出す

2 「グループ一体となった取り組み」による地域の健康・医療への貢献

各事業セグメントが連携し、グループ一丸となって、地域医療のニーズに応え、地域医療構想の実現を下支えすべく、貢献していきます。

地域医療構想の達成に向け、グループ一丸となって貢献する

3 「環境保全への取り組み等」を通じたサステナブル社会への貢献

カーボンニュートラルに向けた取り組み、資源循環の取り組み、および環境汚染防止、生物との共生を推進し、社会への貢献を行います。

2050年度、CO_2排出量実質ゼロに向けて、2020年度比で2024年度に10%削減、2030年度に30%の削減に取り組んでいきます。なお2030年度の削減目標は、政府発表の目標と同じく2013年度の当社推定値比の46%削減に概ね相当しています。

alfresa group

CO_2排出量

2024年度 10%削減
2030年度 30%削減
2050年度 ネットゼロ

※2020年度比較
※2030年度30%削減の目標は政府が掲げる2013年度比46%削減に概ね相当

4 「ダイバーシティ」を中心とした人財戦略の推進

これまでの当社グループの人財要件である強い使命感、高い倫理観、適応力、および挑戦心の4つに加えて、「22-24 中期経営計画」ではグループの持続的成長のために必要な機能において、豊富な知識経験を有する高い専門性を持つ人財育成に取り組みます。当社グループでともに働く人々が多様性を受け入れ、仲間とともにゴールに向かって個性や才能を存分に発揮して協働する強い「個」の集団を実現します。

アルフレッサグループの人財要件

5 「コンプライアンスの遵守」を最重要とする企業風土の醸成

過去の過ちに真摯に向き合い、グループ一体となって、各種法令・規則等の遵守、会議体でのコンプライアンスの周知徹底、トップメッセージ発信や教育研修等を通じたコンプライアンスの周知徹底の3項目について、具体的な取り組み・工夫を継続します。独占禁止法違反の再発防止のため、PDCAを繰り返し実施していきます。

グループ経営目標

2025年3月期 目標	
売上高	2兆7,000億円
営業利益率	1.5%以上
投資計画 (3年間累計)	1,200億円
株主還元	DOE2.4%以上

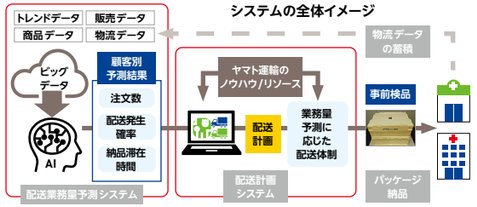
アルフレッサ（株） 環境に配慮した物流への取り組み

当社の子会社であるアルフレッサ(株)と、ヤマトホールディングス(株)傘下のヤマト運輸(株)は、2021年8月、ビッグデータとAIを活用した、配送業務量を予測するシステムと適正配車を行うシステムの開発、導入の開始を発表しました。

配送業務量予測システムでは、アルフレッサ(株)が蓄積した「販売」「物流」「商品」「需要トレンド」などのビッグデータをAIで分析し、顧客毎の配送業務量を予測します。

配車計画システムでは、配送業務量予測システムで得られた情報を基に配車計画を自動的に作成します。ヤマト運輸(株)の物流や配車に関するノウハウに加え、渋滞などの道路情報を活用し、効率的かつ安定的な配車計画が作られます。

これらを導入・活用することで、日々の業務量に応じた最適な配送コースを設定でき、配送生産性が向上するとともに、車両の走行距離を短縮しCO_2排出量を削減できます。



また、アルフレッサ(株)は、アイ・ティ・イー(株)、キリックスリース(株)と共同で医薬品配送用EVを開発し、本格稼働に向けた実証実験を本年5月に開始しました。この車両は環境に配慮しながら、PIC/S GDPに準拠した医薬品配送を実現することを目的として開発されました。あらゆる外気環境下においても荷室内温度を15℃～25℃に保つことを目指し、検証を重ねていきます。

医薬品配送用EV

TCFD対応

2022年6月、当社ホームページにTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報を掲載しました。

アルフレッサグループでは改訂コーポレートガバナンス・コードの趣旨に鑑み、サステナビリティ経営に影響を及ぼす重要課題の一つである気候変動への対応について、これまで検討を重ねてきました。

2022年度よりTCFD提言に沿った以下の枠組みで取り組みを推進していきます。

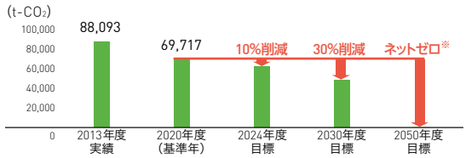
①ガバナンス
CSR推進委員会の下部組織としてTCFD分科会を設置し、コンプライアンス・リスクマネジメント会議やグループ会社との連携を行い、取締役会へ報告する体制の構築

②戦略
当社グループ全体の気候変動に関する影響評価等のためのシナリオ分析、短期・中期・長期の事業におけるリスク・機会の洗い出し、および重要度の高い項目への対応策の検討

③リスクマネジメント
情報収集、リスク・機会の評価・特定、リスク管理の取り組みの推進・進捗管理、取締役会への報告というマネジメントプロセスを策定

④指標・目標
CO_2排出量について2020年度比で、2024年度に10%削減、2030年度に30%削減、そして2050年度ネットゼロを目標として設定

CO_2排出量(Scope1、2)



※政府目標と同期

※2013年度実績は、2014年度以降集計対象範囲に追加された会社の年間排出量を加算して試算。2030年度30%削減の目標は、政府が掲げる2013年度比46%削減に概ね相当

「健康経営優良法人2022」の認定を7社が取得

アルフレッサグループでは、社員の健康保持・増進、組織の活性化、生産性の維持・向上をめざす取り組みを通じて、2022年3月、「健康経営優良法人2022」の認定を、大規模法人部門で5社、中小規模法人部門で2社の合計7社が取得しました。

アルフレッサ(株)は3年連続、アルフレッサ メディカル サービス(株)は2年連続で大規模法人部門の認定を受けており、アルフレッサ ファインケミカル(株)は2年連続で中小規模法人部門の認定を受けています。

7社で認定取得

大規模法人部門
2022 健康経営優良法人 Health and productivity
- アルフレッサ(株)(3年連続)
- ティーエスアルフレッサ(株)
- (株)琉薬
- アルフレッサ ヘルスケア(株)
- アルフレッサ メディカル サービス(株)(2年連続)

中小規模法人部門
2022 健康経営優良法人 Health and productivity
- アルフレッサ ホールディングス(株)
- アルフレッサ ファイン ケミカル(株)(2年連続)

当社グループは、これからも健康経営に取り組むことで社員の健康と生産性向上の両立を実現し、働きがいのある職場づくりを推進していきます。

※健康経営優良法人認定制度：特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度

新型コロナワクチン配送への取り組み

アルフレッサグループは、医療を支える社会インフラとして、日々医薬品等の安定供給に努めています。新型コロナワクチン接種に関しても、当社グループが保有する温度管理技術と経験を活かして、貴重なワクチンを無駄にしないよう適切に配送しています。

ワクチン接種で大きな役割を果たしている地方自治体のご要望にも応じています。通常は、自治体が運営するワクチン配送センターおよび接種会場が配送先となりますが、アルフレッサ(株)堺支店では、大阪府堺市からの依頼を受け、比較的規模の小さい医療機関へのワクチンの小分け業務と配送を行い、多くの方々が、身近なかかりつけ医から安心してワクチン接種を受けられるよう支援しています。今後もアルフレッサグループは生命関連商品を扱う企業グループとして、新型コロナワクチンおよび接種用の注射器・注射針等を配送することで、人々の命を守ることに貢献していきます。

医薬品等製造事業の再編

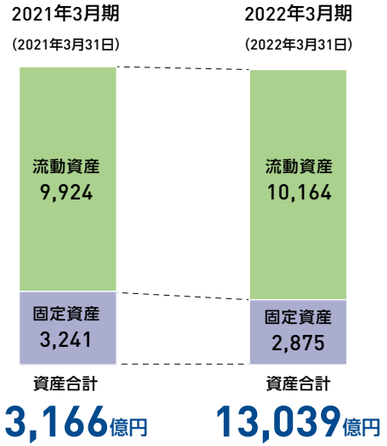
2022年5月、医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ(株)とサンノーバ(株)の2社は、2023年4月1日を予定日として、存続会社をアルフレッサ ファーマ(株)とする合併を行うことを発表しました。医薬品等製造事業において、医薬品の製造・販売に加え診断薬・医療機器・医薬品原材料の製造・輸出入・販売に強みを持つアルフレッサ ファーマ(株)と、医薬品・医薬部外品等の受託製造に強みを持つサンノーバ(株)は、両社の経営資源を統合し、アルフレッサグループの医薬品等製造事業を代表する新しい会社へと再編します。本合併で誕生する新会社は、新たな価値の創造を通じて顧客満足を追求し、当社グループが掲げる「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム」の実現に貢献します。

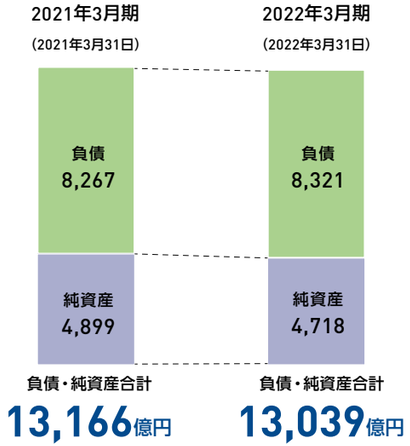
連結財務諸表(概要)

※当期より「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。
なお、前期実績につきましては、受取情報料等の表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

連結貸借対照表

単位:億円





POINT 資産

資産は2021年3月期末と比較して、126億円の減少となりました。

流動資産:+239億円

現金・預金・有価証券	+100億円
受取手形・売掛金	+91億円
商品及び製品	△11億円
未収入金	△23億円
貸倒引当金	+15億円

固定資産:△366億円

有形固定資産	+38億円
無形固定資産	+13億円
投資その他資産	△418億円

POINT 負債・純資産

負債は2021年3月期末と比較して、54億円の増加となりました。

流動負債:+188億円

支払手形・買掛金	+13億円
未払法人税等	+70億円

固定負債:△134億円

繰延税金負債	△105億円

純資産は2021年3月期末と比較して、181億円の減少となり、自己資本比率は36.2%となりました。

純資産:△181億円

利益剰余金	+205億円
自己株式	△152億円
その他有価証券評価差額金	△232億円

連結損益計算書および業績予想

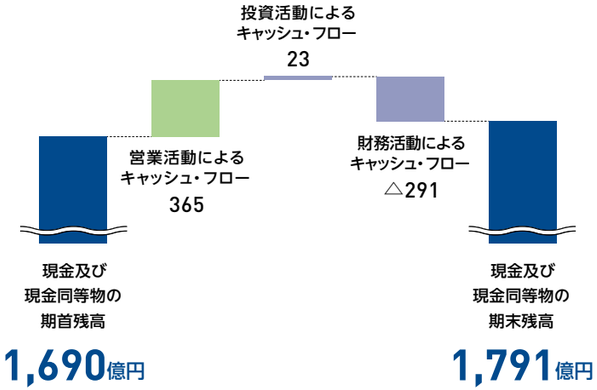
単位:百万円

科目	2021年3月期 (2020年4月1日～2021年3月31日)	2022年3月期 (2021年4月1日～2022年3月31日)	増減額	2023年3月期予想
売上高	2,610,427	**2,585,643**	△24,784	2,618,000
売上総利益	182,794	**187,468**	4,674	191,700
営業利益	27,929	**29,091**	1,161	29,500
経常利益	31,918	**32,576**	657	32,800
当期純利益*	24,501	**32,182**	7,681	21,200

* 親会社株主に帰属する当期純利益

連結キャッシュ・フロー計算書

2022年3月期 (2021年4月1日～2022年3月31日)　　単位:億円



POINT キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、2022年3月期において100億円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー:365億円の収入

税金等調整前当期純利益	+481億円
減価償却費	+122億円

投資活動によるキャッシュ・フロー:23億円の収入

有形固定資産の取得による支出	△150億円
投資有価証券の売却による収入	+249億円

財務活動によるキャッシュ・フロー:291億円の支出

自己株式の取得による支出	△152億円
配当金の支払額	△114億円

株式情報（2022年3月31日現在）

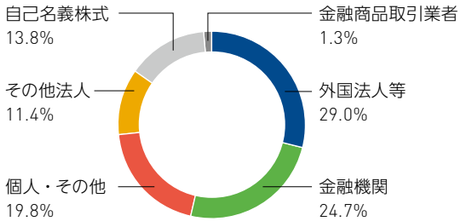
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	14,155名

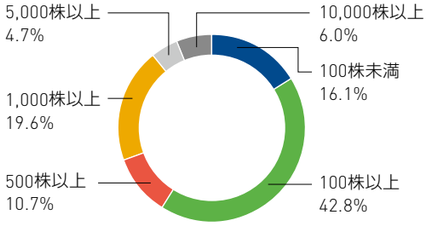
大株主

順位	氏名または名称	所有株式数（千株）	議決権比率（%）
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	32,494	—
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	31,865	15.8
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	10,512	5.2
4	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	9,365	4.6
5	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,737	2.8
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,672	2.8
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	5,076	2.5
8	みずほ信託銀行株式会社　退職給付信託　第一三共口 再信託受託者　株式会社日本カストディ銀行	3,908	1.9
9	第一三共株式会社	3,202	1.6
10	BNYM　TREATY　DTT　15	2,998	1.5

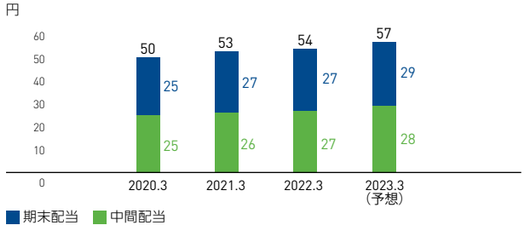
所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



1株当たり配当金



配当について

2022年3月期の配当金は、連結純資産配当率（DOE）2.3%以上の基本方針のもと、中間配当金および期末配当金を各27円とし、年間配当金を54円といたしました。

「22-24 中期経営計画」より配当方針をDOE2.4%以上に引き上げ、2023年3月期は中間配当金28円、期末配当金29円で年間配当金57円を予定しております。

会社概要（2022年3月31日現在）

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	11,925名（連結）
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

取締役および監査役（2022年6月28日現在）

代表取締役社長	荒川 隆治
取締役副社長	岸田 誠一
取締役副社長	福神 雄介
取締役常務執行役員	大橋 茂樹
取締役常務執行役員	田中 敏樹
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役（社外取締役）	原 大
取締役（社外取締役）	木下 学
取締役（社外取締役）	竹内 淑恵
取締役（社外取締役）	國政 貴美子
常勤監査役	尾崎 正和
常勤監査役	上田 裕治
監査役（社外監査役）	神垣 清水
監査役（社外監査役）	加藤 善孝
監査役（社外監査役）	伊東 卓

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉薬
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アポクリート株式会社

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社